

## 第二級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法規 12問 } 24問 1時間  
無線工学 12問 }

法

規

〔1〕 基地局の免許人は、無線設備の設置場所を変更しようとするときは、どの手続をとらなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. あらかじめ総務大臣に申請し、許可を受けなければならない。
2. あらかじめその旨を届け出ておかなければならない。
3. あらかじめ変更の予定期日を総務大臣に届け出ておかなければならない。
4. 変更したとき、総務省令で定めるところにより届け出なければならない。

〔2〕 再免許を受けた陸上移動業務の無線局の免許の有効期間は、次のどれか。

1. 3年
2. 5年
3. 10年
4. 無期限

〔3〕 電波の型式を表示する記号で、電波の主搬送波の変調の型式が角度変調であって周波数変調のもの、主搬送波を変調する信号の性質がアナログ信号である2以上のチャンネルのもの及び伝送情報の型式が電話（音響の放送を含む。）のものは、次のどれか。

1. A3E
2. F3F
3. F7E
4. F8E

〔4〕 第二級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、陸上の無線局のレーダーの技術操作を行うことができるのは、次のどの部分か。

1. レーダーのすべての部分
2. レーダーの空中線電力に影響を及ぼさない部分
3. レーダーの外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさない部分
4. レーダーの外部の調整部分

〔5〕 次に掲げる者のうち、無線従事者の免許が与えられないことがある者はどれか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 刑法に規定する罪を犯し罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者
2. 無線従事者の免許を取り消され、取消しの日から2年を経過しない者
3. 電波法の規定に違反し、3箇月以内の期間を定めて無線通信の業務に従事することを停止され、その停止の期間の満了の日から2年を経過しない者
4. 日本の国籍を有しない者

〔6〕 陸上移動業務の無線局の免許人又は登録人は、主任無線従事者を選任したときは、総務大臣が別に告示するところによる場合を除き、当該主任無線従事者を選任した日からどれほどの期間内に無線設備の操作の監督に関し総務大臣の行う講習を受けさせなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 3箇月
2. 6箇月
3. 1年
4. 5年

## 第二級陸上特殊無線技士試験問題

### 法

〔7〕 非常の場合の無線通信において、無線電話により連絡を設定するための呼出し又は応答は、次のどれによって行うことになっているか。

1. 呼出事項又は応答事項に「非常」3回を前置する。
2. 呼出事項又は応答事項に「非常」1回を前置する。
3. 呼出事項又は応答事項の次に「非常」2回を送信する。
4. 呼出事項又は応答事項の次に「非常」3回を送信する。

〔8〕 免許人又は登録人が電波法、放送法若しくはこれらの法律に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したとき、電波法の規定により、総務大臣が当該無線局に対して行うことがある処分は、次のどれか。

1. 3箇月以内の期間を定めた運用の停止
2. 6箇月以内の期間を定めた電波の型式の制限
3. 3箇月以内の期間を定めた通信の相手方又は通信事項の制限
4. 再免許の拒否

〔9〕 免許人又は登録人は、無線局の検査の結果について総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。以下同じ。）から指示を受け相当な措置をしたときは、どうしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 直ちにその旨を届け出る。
2. 措置の内容を無線業務日誌に記載するとともに総合通信局長に報告する。
3. 措置の内容を無線検査簿又は無線局検査結果通知書の記載欄に記載するとともに総合通信局長に報告する。
4. 措置の内容を適宜の用紙に記載し無線検査簿に添付しておく。

### 規

〔10〕 無線従事者が総務大臣から3箇月以内の期間を定めて無線通信の業務に従事することを停止されることがある場合は、次のどれか。

1. 放送法又は電気通信事業法に違反したとき。
2. 無線局の運用を休止したとき。
3. 電波法に違反したとき。
4. 免許証を失ったとき。

〔11〕 無線局が臨時に電波の発射の停止を命じられることがある場合は、次のどれか。

1. 免許状又は登録状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用しているとき。
2. 総務大臣が当該無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるとき。
3. 発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えているとき。
4. 必要のない無線通信を行っているとき。

〔12〕 基地局の無線業務日誌に記載する時刻は、次のどれによらなければならないか。

1. 協定世界時。ただし、これによることが不便である場合は、中央標準時
2. 協定世界時
3. 中央標準時又は協定世界時
4. 中央標準時